

適切な水・施肥管理と病害虫防除で、高品質米生産に努めよう！！

1. 生育状況(コシヒカリ)

- ・草丈は短め、茎数は少なめ、葉色はほぼ近年並みです。
- ・幼穂形成期は、7月18日頃で、昨年並～1日程度遅くなる見込みです。
- ・出穂期は、5月連休中の播種で、8月10日頃と予想されます。

7月16日現在の生育状況 (展示ほ調査結果より)

		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色	幼穂形成期
本年	カルパー	71.5	472	11.1	4.0	7月18日
	鉄コ	68.5	528	11.4	4.0	7月19日
昨年		76.0	546	11.5	4.0	7月18日
近年		78.9	519	11.6	4.1	7月17日

2. 適切な水管理で活力維持を！！

①出穂期までは**飽水管理(湿潤な状態を保つ)**を行いましょう。

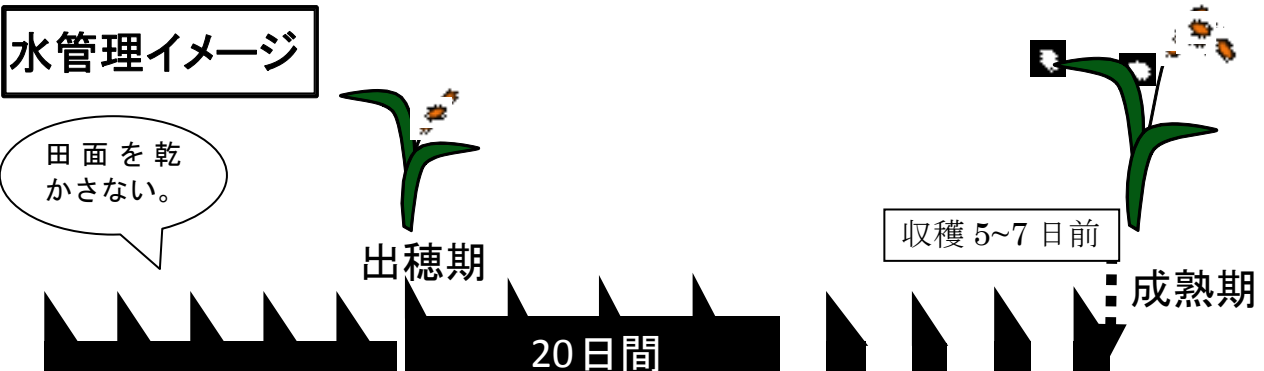
※肥料効率を高めるため、

- ・穂が出るまでは、溝に水が残る湿潤状態とする。
- ・4日以上湛水状態が続くほ場では、**強制落水**する。

②出穂後20日間は、田面が出ないように、**しっかりと湛水状態を保持**しましょう。

③出穂後20日間以降から収穫5～7日前までは、**間断かん水**を行いましょう。

※ただし、**フェーン**が予想される場合は、**事前に入水**しましょう。



①出穂までは
飽水管理

②出穂後20日間は
湛水状態

③収穫5～7日前までは
間断かん水

湿潤な状態を
保つ！！

田面が出ない
ように！！

早めの落水となら
ないよう注意！！

3. 穂肥の目安(コシヒカリ)

(1) 基肥一発肥料の場合は、原則追肥はしない

特に鉄コーティング(コシヒカリ)は、倒れやすいので、原則追肥はしない

— 直播基肥一発肥料の穂肥相当分の溶出は、すでに始まっています —

* 出穂7日前頃(8月3日頃)の葉色が3.8(砂壤土及び秋落ちしやすいほ場では4.0)を下回っている場合は、窒素成分で0.7~1.0kg/10a施用してください。

(2) 分施の場合

① 1回目穂肥は、**幼穂長15~20mm程度の時期**(幼穂長2mm確認の8~10日後)

② 2回目穂肥は、**1回目の1週間後(幼穂長10cm頃)**です。

1回目穂肥施用時の生育状況(カルパー・鉄コーティング共通)

稲の姿	ガッチリ	ややメラつく	メラつく
葉色	3.5	3.6~3.7	3.8以上
草丈	78cm以下	79cm前後	80cm以上
m当り茎数	130本以下/m	140本程度/m	150本以上/m

(分施体系) 穂肥の目安 [メルヘン3号]

1回目	施用時期	7月26~29日頃		施用しない
	施用量	10kg/10a	7kg/10a	
2回目	施用時期	8月2日~8月5日頃		
	施用量	12kg/10a程度		

4. 病害虫防除

※ **基本防除は殺虫剤** のみのため、**穂揃期と傾穂期** に防除して下さい。

	穂揃期 8割以上の穂が出穂した時期	傾穂期 1回目から7日以内	表の見方												
粉剤対応	<table border="1"> <tr><th>キラップ粉剤 DL</th></tr> <tr><td>4kg/10a</td></tr> <tr><td>収穫14日前まで</td></tr> </table>	キラップ粉剤 DL	4kg/10a	収穫14日前まで	<table border="1"> <tr><th>スタークル粉剤 DL</th></tr> <tr><td>3kg/10a</td></tr> <tr><td>収穫7日前まで</td></tr> </table>	スタークル粉剤 DL	3kg/10a	収穫7日前まで	<table border="1"> <tr><th>薬剤名</th><th>成分数</th></tr> <tr><td colspan="2">10a当りの使用量(希釈倍数)</td></tr> <tr><td colspan="2">使用時期(収穫前日数)</td></tr> </table>	薬剤名	成分数	10a当りの使用量(希釈倍数)		使用時期(収穫前日数)	
キラップ粉剤 DL															
4kg/10a															
収穫14日前まで															
スタークル粉剤 DL															
3kg/10a															
収穫7日前まで															
薬剤名	成分数														
10a当りの使用量(希釈倍数)															
使用時期(収穫前日数)															
液剤対応	<table border="1"> <tr><th>キラップフロアブル</th></tr> <tr><td>液剤150Lの場合 75ml/10a(2000倍)</td></tr> <tr><td>収穫7日前まで</td></tr> </table>	キラップフロアブル	液剤150Lの場合 75ml/10a(2000倍)	収穫7日前まで	<table border="1"> <tr><th>スタークル液剤 10</th></tr> <tr><td>液剤150Lの場合 150ml/10a(1000倍)</td></tr> <tr><td>収穫14日前まで</td></tr> </table>	スタークル液剤 10	液剤150Lの場合 150ml/10a(1000倍)	収穫14日前まで							
キラップフロアブル															
液剤150Lの場合 75ml/10a(2000倍)															
収穫7日前まで															
スタークル液剤 10															
液剤150Lの場合 150ml/10a(1000倍)															
収穫14日前まで															

① 水稻の生育状況に応じて防除の日を決めましょう。

② 1回目・2回目の防除間隔は7日を目安とし、10日以上あけないように注意しましょう。

③ 病気の発生がある場合は、随時防除を実施しましょう。

※ **粒剤(キラップ粒剤: 3kg/10a)は、出穂5日前頃**

(8月5日頃)に、3~5cmの湛水状態で田面に均一に散布し、散布後7日間は、落水や掛け流しをしないようにして下さい。